

足立区立花保小学校
学校長 半田 英雄 様

足立区立花保小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 大山 光子
評価部長 野間 一夫

平成30年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

(1) 重点的な取組－1 学力向上

達成目標や具体的な取組みを明示した「学力向上アクションプラン」をもとに、担任はじめ管理職や学習支援員など全教員が一丸となって学力向上に取り組んだことにより、区の学習定着度調査（国語・算数）における通過率が達成基準を大きく上回り、数値目標を達成したことは高く評価できる。

(2) 重点的な取組－2 保育園・幼稚園・中学校との連携

地域の保育園・幼稚園との連携において、「小学校スタートカリキュラム」の実施や「花ほっ子ランド」での交流を通して、小学校進学への期待感を高めることができたこと、また、花保中学校との連携では、情報交換をはじめ合同研修や授業研究を通して相互に授業改善に寄与できたことは評価できる。

(3) 重点的な取組－3 教師の指導力向上

管理職による指導・助言をもとにOJTの活用、足立スタンダードの習得をはじめ研究授業や若手教員養成塾の実施により資質向上を高めるとともに、指導力、授業力の向上に大きな成果を上げられた。さらに児童の授業満足度や保護者の学校評価が95%と高水準で目標を達成したことは評価できるものである。また、保護者授業参観アンケートの「改善を要する」が0%であったことは、先生方の強い努力と向上心が伺える。

(4) 重点的な取組－4 心の教育の充実

QU調査の実施や「リーダーインミー教育」の実践として、花保小独自の「サンクスウィークス」の実施やあいさつボランティア隊の活発な活動等を通して、児童の行動評価を行い、規範意識と自己肯定感を高めることができたことは評価できる。また、東京都より指定された東京オリンピック・パラリンピックの「ゴールボール」応援校として、選手との交流や競技体験によって、スポーツを通じた共生社会について学ぶことができたことは、児童にとって大きな成果といえるだろう。「学校評価アンケート」においても97.5%が「子どもたちが明るく楽しく生活している」と高い評価を得ている。今後とも積極的な取組みを期待する。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

「学校評価アンケート」において17項目中90%以上の肯定的評価が13項目、80%以上が3項目でありすばらしい結果である。しかし、読書が45.4%という低位であったことは、家庭学習も含めて、学校と家庭が連携した取り組みをしていくことが必要であろう。また、開かれた学校づくり協議会は、あいさつボランティア、夏季学習教室の赤ペン先生、生活科・社会科の講師として授業への参加等、学校の教育活動を支えることができた。また、PTA活動にも積極的にに関わり、「昔遊び」や七輪での「マシュマロ焼き」等で楽しく活動することができた。花ほっ子クラブでは、「木工体験」「親子体力測定」「葉脈しおり作りと茶道体験」を実施し、多くの児童と保護者が参加し楽しむことができ、地域と家庭の関わりを持つ良い機会となった。これからも継続して取り組んでいきたい。

3. その他

花保小と花保中の開かれた学校づくり協議会が行った小中連携家庭教育部会の合同企画では、子どもSOSソングライターの「悠々ホルン」氏を講師に迎え「思春期のわが子と向き合うために」をテーマに講演会を開催した。出席者、特に思春期の子どもを持つ保護者にとって子育ての不安や悩みを共有できたことは大きな成果であったと思う。